



ニュースリリース
報道関係各位

2021年11月11日
株式会社グリーンズ

電気も「地産地消」 プール 113 個分の CO2 を削減

～三重県産 CO2 フリー電気「三重美し国 Green でんき」導入～

株式会社グリーンズ（本社：三重県四日市市、代表取締役社長：村木雄哉、証券コード：6547）では、同社が運営するコンフォートホテル鈴鹿（三重県鈴鹿市）で利用する電力について、中部電力ミライズ株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：大谷真哉）が提供する「三重美し国 Green でんき」の需給契約を締結し2021年9月1日（水）より利用を開始しました。

地球にやさしく、未来をあかるく。



中部電力ミライズが提供する「三重美し国 Green でんき」は、三重県の「ミッションゼロ 2050 みえ～脱炭素社会の実現を目指して～」宣言に基づく「三重県産再エネ利用促進事業」に登録しており、三重県内に立地する櫛田川や宮川等の水系にある水力発電所由来の電気と環境価値を活用することで、CO2 排出量ゼロにした三重県産の電気を、同県内を中心とした法人企業等へ供給するものです。株式会社グリーンズでは、「三重美し国 Green でんき」の利用を通じて、三重県の「ミッションゼロ 2050 みえ」の実現に貢献してまいります。

この度のコンフォートホテル鈴鹿における「三重美し国 Green でんき」の導入は、株式会社グリーンズの CSR 活動の重点領域である「環境配慮」の一環として取り組むもので、今回 CO2 フリー電気の導入により年間約 113 t の CO2 排出量削減となります。1 トンあたりの CO2 が 25m プール 1 個分の量に相当することから、25m プール約 113 個分の削減につながります（出展：全国地球温暖化防止活動推進センター）。



また今回の調達契約では、「三重美し国 Green でんき」の電気料金収益の一部を、中部電力グループが保有する水力発電所の改修支援等三重県内の再エネ電源の維持・拡大に活用することを規定しています。自社の CO2 フリー化だけでなく三重県内の再エネ電源の維持・拡大の直接的支援にも取り組むことを通じ、電力の「地産地消」化を通じた地域内経済循環や、収益を活用した地域の再エネ開発や運営などの再エネ拡大に向けた取り組みに貢献してまいります。

■ グリーングループの取り組み

グリーングループの CSR 宣言

～「環境にも人にも優しいホスピタリティあふれる企業」を目指します～

グリーングループでは 60 年以上の歴史の中で、企業目的の 1 つである「地域社会への奉仕と貢献」の考えのもと、地域に密着した社会貢献活動や環境活動などに取り組んでまいりました。その一環として 2030 年の未来を見据え、グリーングループ 2030 年 CSR 宣言「環境にも人にも優しいホスピタリティあふれる企業」を策定し取り組んでいます。ホテル業として不可欠な「ホスピタリティ」をキーワードに、「環境配慮」「コミュニティ」「人」「サービス」を重点課題として様々な形で活動を推進しています。

成長戦略と CSR/ESG 経営を推し進めることにより、今後すべてのステークホルダーとともに、社会に新しい価値を生み出し、分かち合い、ともに持続可能な社会の実現を目指してまいります。

<Save Our Planet>

1 泊されるお客様、連泊されるお客様にかかわらず客室清掃時にはベッドシーツやピローカバーを毎日新しいものに交換していましたが、環境に配慮し連泊のお客様についてはベッドシーツとピローカバーを交換しないことを基本とし、ご希望されるお客様のみ交換させていただくという取り組みです。2014 年 5 月からコンフォートブランドのすべてのホテルで取り組んでおり、貴重な水資源の確保や増えてゆく二酸化炭素の削減などの環境問題に目を向け、日本だけではなく世界の未来と地球環境を守るために、まずは私たちにできることから取り組んでいきます。なおグリーングループホテルズ事業で運営する一部のホテルについても「エコアクション」として同様の取り組みを行っています。

<客室のトイレトーパー使い切り>

紙製消耗品の使用量削減を目的に、客室のトイレトーパーを、最後まで使い切る、という取り組みです。トイレトーパーが残り少なくなった時点で新しいものに交換していましたが、2021 年 10 月より運営する全てのホテルで、最後まで使い切る運用へ変更しました。この変更により紙製消耗品で最も使用量の多いトイレトーパーの廃棄量は、年間で 41,930 kg（当社全ホテル）の削減となります。

<SAVE WATER. SAVE ENERGY.>

運営する全てのホテルのバスタブに適正水量を示すシールを貼り、お客様にも協力をいただきながら、節水活動を推進しています。

<脱使い捨てプラスチック>

海洋プラスチックごみ問題、「脱使い捨てプラスチック」の取り組みとして、運営する全てのホテルで、2019 年 9 月から、無料コーヒーサービスや朝食のドリンクコーナーなどで使用するコーヒーマドラーやストローを、プラスチック製品から紙製品に切り替えました。

Room to be Green

グリーンズグループが展開する「コンフォート」ブランドを有する米国チョイスホテルズインターナショナルが推進する「環境イニシアチブプログラム」。環境への影響や廃棄物を削減し、環境問題などへ関心の高いお客様の期待の変化に対応しながら、同時に運営コストの削減を目指すもので、「エネルギー資源の保護」「節水」「リサイクルと廃棄物の削減」「従業員エンゲージメント」「環境配慮商品の導入」という環境に影響を与える5つの主要項目に対し、取り組みを行うよう定められています。

アメリカの店舗で導入されている上記の取り組みやノウハウを日本のコンフォートブランドでも積極的に取り入れ、さらにCSR活動としてグループ全体の運営ホテルへ展開を進めています。

Choicehotels Room to be Green (米国チョイスホテルズのサイト)

<https://www.choicehotels.com/about/responsibility/room-to-be-green>

■株式会社グリーンズについて

株式会社グリーンズは、40カ国以上7,000軒以上のホテルチェーンのグローバルブランドを擁する「チョイスホテルズ事業」と、60年以上のホテル運営の実績をもつ「グリーンズホテルズ事業」とのシナジーで、中間料金帯ホテルチェーンで唯一全国展開に成功しています。

URL : <https://www.kk-greens.jp/>

事業内容 : ホテル・レストランの経営、その他付帯する業務

【お問い合わせ先】 株式会社グリーンズ 総務部 担当 : 田中、中川

電話 : 059-351-5593 FAX : 059-354-1355

Email : greens-info@greens.co.jp